

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立東山東小学校	山下 真二
学校所在地		
〒 640 - 0303 tel (478)0052 fax (478)2252		
担当者名		担当教科
三谷 崇浩		
<p>〔学校の概要〕</p> <p>和歌山市の東南に位置する。東は紀の川市貴志川に接し、南は海南市に接している。地勢は、東西南北に山があり、盆地の様な形状をしている。また、山の斜面を利用して、みかんを初めとする果樹園や竹の子栽培のための竹林が広がり、平地は、水田が広がる田園風景がある。その一方、幹線道路沿いには、新興住宅が建ち並ぶ。</p> <p>歴史的遺産には、西に熊野古道、伊太祁曽神社があり、中央部には足守神社がある。小学校は、児童数181名の小規模校である。子どもの多くは、2世代～3世代が同居する大家族である。子ども達が多くの人とコミュニケーションを取ることができるよう、異世代（地域の幼稚園、老人ホーム）、異文化（外国人）の方と積極的に交流してコミュニケーション力を高められるようにしている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5 年生 30 名	6 名 職員 2 名	本校教室・高野町
実践研究テーマ		
世界遺産・紀伊山地の霊場と参詣道を学び、郷土の良さを知る。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	私たちの町を通る熊野古道 ～高野山を訪ねて～	
〔キーワード〕 熊野古道 ・ 世界遺産 ・ 高野山・紀伊山地の霊場と参詣道		
<p>〔単元目標〕</p> <p>① 地域の歴史を調べることができる。</p> <p>② 地域の歴史遺産と世界遺産の関係を知る。</p> <p>③ 地域の良さを広めよう。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 10 時間 （「地域の歴史遺産と世界遺産の関係を知ろう」 10時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>・和歌山県世界遺産センター・・・世界遺産入門 現地学習</p> <p>・和歌山県世界遺産マスター・・・現地学習</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	地域に歴史的遺産はないだろうか。 ・歴史遺産とは ・どんな歴史遺産があるのだろうか。	・地域の歴史的遺産には、どんな物があるか インターネットや家庭で聞いてきたことを基に話し合う。	・行動観察 ・誌面点検
2	・熊野古道について調べよう。 ・地域を通る熊野古道が世界遺産であることを知る。	・社会の副読本（ひらけゆく和歌山）やインターネットを利用して調べる。 ・世界遺産についてインターネットを利用して調べる。	・行動観察 ・誌面点検
3	・高野山について調べよう。	・高野山に関するビデオを視聴し、教師が作成したクイズをする。	・行動観察 ・誌面点検
4	・世界遺産を感じよう。 ・高野町の素晴らしさを知ろう。	・世界遺産について話を聞いたり、見学したりし、高野山の素晴らしさを感じ取る。 ・世界遺産を保全し、伝え続けることの重要性を学ぶ。	・行動観察
5	・高野町で学んだことを広めよう。	・学んだことを新聞やポスターなどの制作物で表し、他学年や来客者に伝える。 ・友達の作品を見て、伝え方の工夫や良さを話し合う。	・行動観察 ・誌面点検
〔单元学習の成果と課題〕			
・地域学習の中で、熊野古道が中心的な課題になった。その中で地域を通っている熊野古道が世界遺産に含まれていることを知り、子ども達の興味が世界遺産に繋がった。また、高野山で実際に自分の目を通して学んだことは深く心に残り、高野山がより身近な存在に感じる様になったと思われる。道普請を行う事で保全活動の大切さとそれを担っていくべきであるという考えが子供達の中に芽生えた。今後、昔の人の生活や息づかいを感じるには、より体験的にしていかななくてはならないと思う。それは熊野古道を歩くなど、時間をかけて学習すべきであろうと考える。			
〔世界遺産学習の効果〕			
・地域に世界遺産の熊野古道が通っているということを再認識することで、身近にある熊野古道を大切に、保全していかななくてはならないという意識が芽生えた。 ・高野山をはじめとする世界遺産が和歌山県内にあり、他府県の人達や海外の人達に伝えたいという声上がるようになった。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
・歴史の学習は6年生で行うため、5年生の児童の多くはそのほとんどを知らない。また、歴史上の人物や仏教上の意味を理解するのは、難しい様であった。けれど、世界遺産マスターの話の中に「今はわからなくても、大人になった時にこの経験を持って、もう一度高野山に来るとより魅力が理解できるよ。」という言葉によって、子ども達なりの納得をしながら学習を進めていくことができたように思う。			

様式 2

平成30年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書

学習記録・活動写真]

○現地学習後の児童の感想より

- ・家族で壇上伽藍や金剛峯寺に来ていたらわからないことがたくさんあったと思うけれど、世界遺産マスターの先生のお話を聞きながら見学できたのでよくわかりました。こんなにすごい所が和歌山県にあると知ったので、誇りを持ちたいです。
- ・今回の見学で世界遺産マスターの先生から教えてもらったことを家族に伝えたいと思います。きっと家族も知らないことがたくさんあると思うので、家族全員で世界遺産マスターになりたいです。
- ・高野山ではどこも落雷や火災の対策をしていることに驚きました。特に金剛峯寺の屋根にある桶の役割が、今とは違って昔の人達はすごい工夫をしているんだなあと思いました。
- ・熊野古道や高野山というものが世界遺産の名前だと思っていました。けれど、今回の学習で「紀伊山地の霊場と参詣道」が本当の名前だと知りました。また、和歌山県だけでなく、三重県や奈良県にもまたがっているほど大きなものだったなんて知らなくて驚きました。
- ・世界遺産に3種類あるなんて知りませんでした。私は高野山を自然遺産だと思っていたけれど、文化遺産だと聞いて驚きました。でも、その理由を聞くと、「なるほど。そうなんだ。」ととても納得しました。
- ・世界遺産を選ぶときにあんなにたくさんの項目があるなんて知らなかったの、とても驚きました。
- ・世界遺産の中には、世界遺産を取消されたものがあると聞いたので、「紀伊山地の霊場と参詣道」が取消にならないように掃除をしたり、道作りに参加したりしていきたいです。
- ・僕の家近くにある熊野古道がこんなにもたくさんの人達にとって大切なものだなんて知りませんでした。いつも何も思わずに歩いていたのですが、これからはもっと大切にしながら歩いていきたいと思いました。
- ・高野山には外国人がたくさん来ていました。私は家族と高野山に行ったことはないのですが、海外からでも高野山に来る人があんなにいると思っていませんでした。こんなにも外国で有名な高野山をもっと世界の人達に知ってもらって、観光客がたくさん和歌山県に来てほしいです。
- ・僕達が道普請を始める前は道がでこぼこだったけど、みんな（世界遺産センターの人達も）で頑張って土を運んで固めるときれいな道になりました。たくさんの人達に通って欲しいです。

